



KORNBERG

Toward innovative research: Lessons from the Kornbergs

独創的研究の神髄:コーンバーグ親子から学ぶ

July 23, 2007 13:00 ~ 15:20

主催 東京大学 会場 東京大学安田講堂 (Univ. Tokyo, Yasuda Auditorium)
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_01_j.html

本シンポジウムではDNAポリメラーゼ研究で1959年ノーベル賞を受賞したアーサー・コーンバーグ、アーサーの長男で、RNAポリメラーゼ研究で、昨年、ノーベル賞を受賞したロージャー・コーンバーグ、次男で発生研究の第一人者でUCSFの教授であるトム・コーンバーグを招聘し、二日間に渡るシンポジウムを行います。アーサーは医学部卒業後、船医としてビタミンの必要性を実感した頃から生化学研究の原点がはじまり、90歳近い現在でも現役で研究を行っています。ロージャーは子供の頃から研究室に出入りし、20代でクロマチンのヌクレオソームモデルを提案し、トムはジュリアードでチェロ演奏家を目指した後、生命科学者に転向しました。このようにまったく異なるキャリアパスを経てそれぞれ第一線の研究者となった3人にその研究観についての講演を行っていただきます。

We are happy to invite you to The Tokyo Univ.-Horiba International Conference, **Toward innovative research: Lessons from the Kornbergs**, which will be held on July 23rd and 24th. Prof. Arthur Kornberg, Nobel Laureate in 1959, his eldest son Prof. Roger David Kornberg, Nobel Laureate in 2006, and his second son, Prof. Tom Kornberg, developmental biologist at UCSF, will visit Tokyo Univ together and give lectures on their scientific philosophies along with the third son, Ken Kornberg, an architect of laboratory design. Both scientists and non-scientists are welcome. No advanced registration is required.

若手とコーンバーグ一家の交流会

講演会終了後、午後3時45分よりアジア太平洋分子生物ネットワーク (Asia Pacific-International Molecular Biology Network, A-IMBN) の後援により学生とコーンバーグ一家の交流会を行います。学生、院生など若手の方々をはじめ多くの皆様、どうぞお気軽にお越し下さい。

After the symposium, students and participants are welcome to a mixer with speakers at San-jo Kaikan, Univ. Tokyo which is sponsored by Asia Pacific-International Molecular Biology Network, A-IMB

会場: 東京大学山上会館 (San-jo Kaikan, Univ. Tokyo) 15:45-17:15 飲み物、軽食をお出します。

MAP: http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html

すべて入場無料。事前登録不要。

どなたでも聴講できます。23日は同時通訳がはあります。詳しくはホームページへ

<http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/moldev/070723Kornberg.html>

アーサーの三男で建築家のケン・コーンバーグ氏が安田講堂ロビーに作品を紹介するパネル展示を行います。ラボデザインの第一線の建築家で沖縄大学院大学のデザインも手がけておられます。併せてごらん下さい。



東京大学堀場国際会議 東大130周年記念事業
東京大学医学部基礎統合特別講義

July 24, 2007
**Kornbergs
Symposium**

7月24日にそれぞれの専門分野についてシンポジウム形式、あるいは講演会を行います。